

大学名 新潟大学

第66号 特集テーマ「女性研究者の育成・活躍」

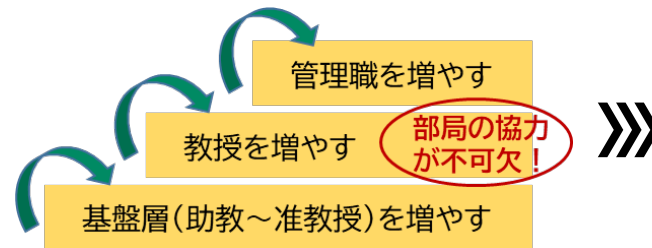
表題 教員の中長期研修派遣実現支援制度「女性研究者開花プラン支援事業」

新潟大学は、科学技術人材育成費補助金「ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ（先端型）」事業（令和2～7年度）に採択され、博士後期課程から管理職までの全世代にわたる女性研究者の採用、育成、登用、支援に取り組んでいます。

本学の課題として、意思決定層等の上位職の女性教員の比率の低さがあります。この課題解決のためには、母数となる基盤層の増加とともに、部局の協力が必須と考え、将来的な女性管理職の増加に向けた上位職の育成・登用の取組である「女性研究者開花プラン支援事業」を補助金による事業の1つとして立ち上げました。

新潟大学の課題

- ・ 評議員の女性比率の低さ
R1年度： 6.3%
- ・ 教授の女性比率の低さ
R1年度： 8.3%
(国立大学平均10.4%)



本事業は、「海外派遣や研究専念など中長期的な研修の実現及び上位職に挑戦する機会の提供」により女性研究者を計画的に育成する部局を支援する事業で、研修期間中の代替要員の人件費と研究費を助成するものです。学内公募に際し、部局の計画には、①女性研究者自身が手あげ可能な募集方法、②安心して研修に参加できる環境整備、③研修後のフォローアップ、④育成対象者に上位職獲得へ挑戦できる機会を提供することの4点を必須事項としました。

本事業の大きな特徴は、大学が特定の研修を用意するのではなく、各女性研究者にとって上位職に向け必要な研修を本人と部局が自ら設定し、部局のサポートの下で実行する点です。それにより部局の意識改革を促し、持続可能な支援体制を形成するきっかけとすることがねらいです。

事業の成果として、本事業に採択された女性准教授1人が、令和4年度に教授職を獲得しました。今後もさらなる上位職の誕生が期待されます。

「女性研究者開花プラン支援事業」

海外派遣/研究専念と上位職に挑戦する機会の提供により、女性研究者の育成を計画する部局を支援

女性研究者が手を挙げ、部局が申請

必要な研修を自ら設定

桜プラン
教授創出計画
1000万円助成

研修中の代替要員の人件費と研究費を助成

桃プラン
上位職創出計画
450万円助成

執行部をメンバーとする審査会

准教授→教授
講師→准教授以上
助教→講師以上

梅プラン
上位職創出計画
150万円助成

部局計画の必須事項

- ① 女性研究者が手あげ可能な募集
- ② 安心して研修に参加できる環境整備
- ③ 研修後のフォローアップ
- ④ 上位職獲得へ挑戦できる機会の提供